学校番号	3031

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新詳　世界史探究（帝国書院）						
副教材等	アカデミア世界史（浜島書店） 世界史探究マスター問題集（山川出版社） 26 共通テスト実力トレーニング（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人の生き方や社会の在り方を考えるには、現在だけを考えてもうまくいかない。どのような経過の積み重ねで現在がこのようになっているのか。また、過去の類似する状況で人々がどのように行動してきたのかなどを考えることによって、私たちは現在を理解し、未来をつくるための、より賢明な判断をすることができる。世界史探究では、長期的な視野で人類や地球を考え、いつの時代にも変わらない人間の知恵や欠点、現代社会が失ったものに着目する。多様性が尊重される社会で、現在と未来のために歴史を学び、唯一の正しい歴史を知るためではなく、よりよい選択をするための材料の１つとして、この授業に取り組んでほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解することができる。また、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察することができる。また、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究することができる。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さにすることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1部　世界史へのまなざし	1章 地球環境からみる人類の歴史 2章 日常生活からみる世界の歴史	a:人類が,地球の環境に適応しながら文化や文明を生みだしていったことを理解している。 私たちの日常世界が,歴史と深く関係していることを理解している。 b:地球環境の変化と生物や人類の歴史の関連について考察し,自分の言葉で表現している。 家族の形態や感染症など,日常生活と歴史の関係について表現している。 c:身近な環境と歴史の関係を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・提出課題	・定期考査 ・小テスト ・提出課題	・授業態度 ・発問評価 ・学習内容の振り返り ・提出課題

	第2部 諸地域の歴史的特質の形成	1章 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質	a:東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 b:東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質について考察し，自分の言葉で表現している。 c:東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・提出課題	・授業態度 ・発問評価 ・学習内容の振り返り ・提出課題
		2章 南アジアと東南アジアの歴史的特質	a:南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している。 b:南アジアと東南アジアの歴史的特質について考察し，両者の共通点や相違点を挙げながら自分の言葉で表現している。 c:東南アジアの歴史的特質を主体的に追究しようとしている。			
		3章 西アジアと地中海周辺の歴史的特質	a:西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 b:西アジアと地中海地域周辺の歴史的な特質について考察し，自分の言葉で表現している。 c:西アジアの歴史的特質を主体的に追究しようとしている。			

前期	第3部 諸地域の交流・再編	第1章 ユーラシア大交流圏の成立	a:イスラームとモンゴルによって形成された陸と海のネットワークを理解している。 b:イスラームとモンゴルによるネットワークの広がりがユーラシアや諸地域をどのように変えたのかについて考察し，自分の言葉で表現している。 c:ユーラシア大陸をつなぐネットワークについての理解を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・提出課題	・授業態度 ・発問評価 ・学習内容の振り返り ・提出課題
		第2章 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出	a:14～17 世紀にかけてアジア諸地域間の交易が拡大したことを理解している。 b:交易の拡大による諸地域の変化のうち，最も大きな変化について根拠を示しながら自分なりに評価し，表現している。 c:アジア諸地域間の交流について主体的に追究しようとしている。			
		第3章 主権国家体制の成立と交易の拡大	a:17～18 世紀のヨーロッパの社会構造の変化を理解している。 b:17～18 世紀のヨーロッパの社会構造の変化に大きな影響を与えたものは何かについて考察し，自分の言葉で表現している。 c:17～18 世紀のヨーロッパの社会構造の変化を主体的に追究しようとしている。			

後期	第4部	第1章 環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生	a:大西洋を取り巻く地域で起こった革命が，各地の社会構造に与えた影響を理解している。 b:大西洋を取り巻く地域で起こった革命が，各地の社会構造に与えた影響について考察し，自分の言葉で表現している。 c:大西洋を取り巻く地域で起こった革命が，各地の社会構造に与えた影響を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・提出課題	・授業態度 ・発問評価 ・学習内容の振り返り ・提出課題
		第2章 イギリスの覇権と欧米の国民国家建設	a:イギリスの覇権が欧米諸国に与えた影響を理解している。 b:国民国家形成の前後で，欧米諸国に生じた変化について考察し，自分の言葉で表現している。 c:イギリスの覇権が欧米諸国に与えた影響を主体的に追究しようとしている。			
		第3章 世界の一体化の進展とアジアの変容	a:「西洋の衝撃」がアジア諸地域に与えた影響を理解している。 b: 「西洋の衝撃」によるアジアの変化で，最も重大だと思うことについて，根拠を示しながら自分なりに評価し，表現している。 c:「西洋の衝撃」がアジア諸地域に与えた影響を主体的に追究しようとしている。			
		第4章 世界の一体化の完成とその影響	a:帝国主義が世界各地に与えた変化について，理解している。 b:帝国主義が世界各地に与えた変化について，欧米およびアジア・アフリカ・オセアニアの各地域ごとに考察し，表現している。 c:帝国主義が各地に与えた変化について，主体的に追究しようとしている。			

	第4部	第5章 世界大戦の時代 第6章 戦後の国際秩序と冷戦	a:二度の世界大戦が起こった理由を理解している。 b:第一次世界大戦の反省を踏まえた平和への取り組みは成功せず,第二次世界大戦が起こった理由について考察し,表現している。 c:二度の世界大戦が起こった理由を主体的に追究しようとしている。 a:第二次世界大戦と冷戦構造の関係について理解している。 b:冷戦構造が形成されるなかで,アメリカ・ソ連・ヨーロッパ・第三勢力諸国の動きが冷戦構造に与えた影響について考察し,自分の言葉で表現している。 c:冷戦構造が世界にもたらした影響を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・提出課題	・授業態度 ・発問評価 ・学習内容の振り返り ・提出課題

後期	第5部	第1章 冷戦の展開と平和の模索	a:冷戦期から現在まで世界各地で発生した紛争を理解している。 b:冷戦期から現在まで、どのような紛争があり、それに対してどのような取り組みが行われたのかについて考察し，自分の言葉で表現している。 c:冷戦期から現在までの紛争の原因と解決方法について，共通点や相違点に着目しながら考察し，課題解決の方法を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・提出課題	・授業態度 ・発問評価 ・学習内容の振り返り ・提出課題
		第2章 グローバル化する国際経済とその課題 第3章 情報と科学技術によって結びつく世界 第4章 地球世界の課題の探究	a:国際経済のグローバル化を理解している。科学技術の高度化と知識基盤社会の進展について理解している。 b: これまでの学習を踏まえて，主題を設定し，動機についても示しながら，よりよい社会実現のための仮説を表現している。 c:グローバル化に向かう世界経済に生じている課題について考察し，課題解決の方法を主体的に追究しようとしている。科学技術の高度化と知識基盤社会の進展は，私たちの生活にどのような影響や課題を与えているのか，歴史的経緯を踏まえて考察し，今後の科学と世界のあり方について主体的に追究しようとしている。地球世界の課題について，歴史的な経緯を踏まえながら考察し，解決に向けて主体的に追究しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度